

様

どの分野でも経験者の失敗、成功話は有意義です。

でも、たまにとんでもないことを問い合わせしている人、言っている人がいます。

今日は相談相手の選び方について、少し話します。

「お金の話を相談する」

ある家庭の会話です

C 君 10 歳 「ママっ、お金貯めるにはどうすればいいの？」

A ママ (40 歳) 「今はたくさん勉強しなさいね。そしたら大人になった時に仕事してお金が貯まるのよ」

B 母 (68 歳) 「ちゃんといい子にしていたら誕生日に欲しいモノを買ってあげるから、お金のことは子供が言うのはやめなさいね」

彼らに、お金の貯まる方法のアドバイスを聞いている人、アドバイスを受けている人ヤバイです。

なぜか？実は・・・

A ママさんは、24-26歳の頃にお友達に「儲かるネタがある」と言う話に乗せられて消費者金融から借金して「儲かるネタ」を買った。しかし、ぜんぜん儲からなくて、その後、毎月利息払いに追われてしまいお金については金欠状態。でも、まじめに利息は払いました。その頃、晩御飯はいつもモヤシ炒めなど節約生活でした。

2年以上ずっと借金の利子を払っていた A ママの借りた残高は1円も減っていませんでした。元金を返せていなかった。今から考えてもぞっとする話です。

次に、B 母はというと、昔の商売で他人の借金まで背負わされて・・・借金があるのを黙っていて、払えなくなったので自己破産した B 母 (A ママのお母さんという衝撃な事実)。

そんな A ママと B 母が愛する子供 C 君にお金のお話をしていたわけです。

どこか間違っていますよね？

私が思うに彼らは100万円以上貯めたことがない可能性が高い。ということは、貯める方法は知らないはず。なければならないなりに我慢できるがお金があると、使ってしまうタイプ。と推定。

<http://ikuji-navi.com/>

では、お金の貯める方法は？

私が、21-22歳の頃に口座に200万円以上もってあった。なぜか？

「仕事が忙しくて、使わなかったからです」

収入に対して出費が少なかっただけなのですが、これは簡単な理屈ですよ？

つまらん人生送って、もっとお金使わないと
お金の使い方わからんやろうと、自分も言いたいところです。

しかし、このおかげで私の今日があると思うと

「お金を貯めること」は非常に重要な要素です。

~~~~~

もし、Aママさんと、B母さんが、「借金についての失敗談」ならすごく面白い話を期待できるし説得力もあるでしょう。がしかし、「貯める方法」は聞かないほうが良さそうです。

このようなことが実際に目の前で起こったら。  
ネットや、書籍で勉強したほうがよいです。